

わかやま母親通信

第67号 2018年9月8日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

8月25~26日 第64回日本母親大会 in 高知 HP 和歌山県母親大会

8月23日夜から24日早朝にかけて、台風20号が四国徳島県付近を直撃するという最悪の天候にやきもきしましたが、台風一過の余波が残る中を団体バスは予定通り出発しました。和歌山港からフェリーで行く行程は淡路島周りに変更しましたが…。34名と子ども4名です。24日午後と25日午前のオプションは、予定通り実施でき、大変楽しく過ごせたとのことでした。岩出新婦人4名も24日朝出発。特急くろしお運休、阪和線も日根野からという中を、家族の方に日根野駅まで車で送っていただいたとのことでした。予定の観光、高知の食を堪能できたとのことでした。良かった。良かった。他には、26日の分科会のみ参加の日高の方2名は夫様の自動車でとのことでしたが、無事フェリーに乗って行けたのでしょうか。和歌山県からの参加者は、40名と子ども4名でした。

25日全体会の記事と写真は、岩出市のN.S.さんから寄せていただきました。

第1日目の全体会に全国から4300人 決意新たにした日本母親大会

県立追手前高校吾北分校と「一番風」の太鼓で幕開け。

日本母親大会代表委員の笠井さん(新婦人会長)が主催者挨拶、「女性参政権発祥の地・高知で初めて日本母親大会が開かれた。女性や市民のいのち、くらし、平和の声を挙げ行動している時に開かれた。今1800万集まっている“安倍改憲ノ一3000万署名”・“ヒバクシャ国際署名”を積み上げていこう。沖縄に新基地をつくらせないために、沖縄知事選挙を全国から支援しよう。」と挨拶された。

その後、記念講演があった。(記念講演要旨については、3ページ目に掲載しています。)

来賓挨拶。高知県知事。高知市長。高知県労連。

よさこい鳴子踊りを見、会場みんなで踊った。



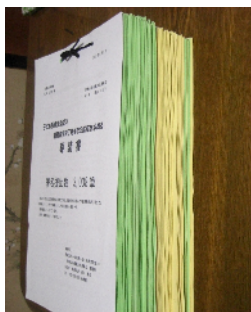
「今日から500円貯金をして、来年、一緒に静岡に行こう！」
Sさんからの誘い

今日の運動(全国のたたかひの交流)

危険なブロック塀を撤去させた香川のお母さん

「子どもが通う小学校のブロック塀が、入学し(2面へ)

和歌山県への子ども医療費助成の年齢引き上げを求める署名・請願の取組み



9月4日現在、760枚3,038筆の署名をお寄せいただきました。ありがとうございました。9月5日に、西川事務局長が健康局健康推進課へ届けてきました。推進課の竜田主幹 尾崎母子福祉保健班長が時間を調整して対応してくれました。県の子ども政策として、「命と健康に関わる医療費の拡充」を口頭で要請しました。

また、9月県議会への請願については、11日の県議会開会の前後に各会派を回わり、賛同を得られるよう説明するとともに、紹介議員への協力依頼をする予定です。

た時から気になっていた。大阪北部地震でブロック塀が倒れ、女の子が亡くなった悲しい事故があったとき、塀の写真をツイッターで発信。すると、NHKが学校に取材しに来た。4日後市長に申し入れをしたら、翌週、塀が撤去された」と報告。

“息子の最高裁署名にご協力を”

訴えられた守大助さんのお母さん

……2001年准看護師だった大助は、5人の患者の点滴に筋弛緩剤を投与したとして殺人、殺人未遂で起訴され、無期懲役刑が確定。刑務所で17年間無実を叫んでいる。

私が産み育てた息子が、人を殺めるような理由や動機はない。無実だと涙の訴え。聞いていて涙が…。署名に協力しよう。

428日間も不当に拘留

倉敷の福屋さん



エール交換

司会者の「〇〇ブロックのお母さん」の呼びかけに答える。「近畿ブロックのお母さん」の呼びかけで、私たちは、「わかやま」と書いた紙を掲げた。胸が熱くなる。会場が一体に。

みんな頑張っている。何にもできないけど、できることで頑張るわ。1筆1筆集め、その署名が大きな力になるんやな。来年も来なあかんなあ。来年はもっと誘って参加したいね。

核兵器禁止条約の教材用DVDを作っている -幡多高校平和ゼミナール 高校生とOB-

「母の世代からビキニ水爆実験で被災した漁民を追跡。久保山愛吉さんの奥さんからもらったバラの挿し木がずっと花を咲かせ、今もこんなにきれいに咲いている。(写真)

今まで学んできたことをDVDにしている。核兵器禁止条約の教材になるように、世界の子どもたちへ送りたい。

このDVDは県母連で予約済。『ビキニの海は忘れない』も購入。ご活用を！

セクハラ許さない 原発ゼロ 米軍基地いらない核兵器をなくそうと全国からの報告

締めくくりは、沖縄からの報告

米軍基地建設は許さないと戦い抜いた翁長知事。その意志を継ぎ、知事選勝利に向けがんばります。みなさんのお力添えを。

Sさん、ありがとうございました。(事務局)

～8月25日 全体会参加者の感想から



記念講演

憲法とともに歩み続ける
子どもの未来、くらし、平和
一橋大学名誉教授 渡辺 治さん

戦後 70 年余り。憲法はアメリカの改憲圧力、保守支配層によって何度も改変の危機に立たされた。

その度に、革新政党・労働組合・市民などの運動で対抗してきた。

時の政権は、戦後のわずかな時期を除き、憲法が目指す構想をまともに実現する努力をしたことがない。

子どもたちの未来のために、安倍改憲ノーの運動を強め、必ず 3000 万署名をやり切り、安倍改憲をつぶし、政権を倒そう。来年静岡で開催される母親大会で、いい報告がし合えるよう頑張ろう。(Sさん まとめ)



和市新婦人 年金 T. Y.

オープニングの太鼓演奏、主催者挨拶、来賓挨拶に感動した。「挨拶」に感動するなんて、自分でもビックリ。それ程、みなさん、心のこもったこととお話しされました。

渡辺先生は、原稿を見ることもなく熱く熱く話されました。市民と政党と手を結ぶ 3000 万署名の“力”の大きさ、大事さを説かれ、そのエネルギーに圧倒され、もう一頑張りしようと思いました。

有田退教協 K. O.

会場は少し暑く、途中でちょっとしんどくなったりもしましたが、オープニングからエール交換まで素晴らしかったし、感動でした。特に記念講演は心に残りました。今、自分の心の中にある不安な思いやイライラを解消できるのは、3000 万署名の運動

なんだということが腑に落ちました。高知での学生時代を思い出し、その頃の直(ひた)向きだった心も思い出すことが出来ました。参加して良かったと思います。



西牟婁 和高教書記 E. O.

……知事、市長の挨拶は、「今年は明治維新から 150 年を迎える。維新の礎を築き、自由民権運動発祥の地として、多くの人材が活躍した歴史を誇りとしている。」力強い、熱い言葉をいただきました。全国からのそれぞれの闘いの報告に、知らないことが多く、全国からの生の声が聞ける大事な集まりの場であることを再認識しました。

渡辺治氏の講演は 3 回目ですが、差し迫っているいまのじょうきょう、そして全国から集まっている参加者 4300 人の聴衆を前にしてか、ダントツの力強さ鬼気迫る語りようでした。歩き訴え話して、3000 万署名を集めようと、今一度回りに広げたいです。

事務局のつぶやき

台風にやきもきさせられた後は、空調が十分でない会場での蒸し暑さに少ししんどい思いもありましたね。みなさん、大きく体調を崩さずに過ごせたようで、良かったです。

ただ、高知県は、「交通の便も悪く、4000 人弱収容の体育館しかない」ということで、日本母親大会の開催を断り続けてきたのですが、「その県の実情に応じたやり方で」という 2014 年の日本母親大会実行委員会の大きな方針変更を受けて、今回の大会開催を決意されました。そうした地方県の決意と努力も、ご理解下さればと嬉しいです。

～8月26日 分科会参加者の感想から～

12 自然災害に強い町づくりー東北・熊本地震からの復興 東海地震に向き合う

有田 教組 M. I.

黒潮町の行政と住民が一体となり、自然現象を災害にさせないための取組みを聞かせてもらいました。犠牲者を出さず命を守る意識を高め、地域の絆を強め、自助・共助の防災を文化として築き上げていく取組みの素晴らしさに驚きました。日頃からの心構えや準備の大切さを改めて痛感。このことに一步踏み出したいと思いました。

交流では、福島南相馬の避難所の様子、広島での避難の様子等を聞かせてもらいました。その中で、やはり原発の存在の大きさ(被害を大きくする)に大きな不安を感じました。

三日間、知らなかったことをいっぱい、知ってはいたけどやっぱり大切なことを多く学びました。平成最後の母親大会で、一步を踏み出そうと力をもらいました。

23 日本の空はだれのもの？ーオスプレイ・低空飛行 自衛隊

県母連 J. M.

テーマに心引かれ、何の迷いもなく選びました。オスプレイの話が圧倒的に多かったので、各県の状況がよく理解できました。和歌山の状況については、きちんと発言できませんでしたが…。とにかく、沖縄での子どもたちの避難訓練の状況、アメリカ兵の家族の様子、沖縄県民の「なぜ、私たちだけが…。」等、助言者の話を聴きながら、安保・地位協定に怒りが湧きます。他人ごとではないですものね。

有田 新婦人 K. O.

日本中のオスプレイの動きが良く分かった。ドイツ、イタリアにも米軍基地があるけれど、国内法が優先されているそうです。

有田 新婦人 A. Y.

沖縄の大変な基地運動の流れを教えてくださいましたが、日本中どこでも、オスプレイ、低空飛行、自衛隊などの問題が起きていることを、まざまざと知りました。安倍政権によって憲法を変えることが次々と実践(?)されていることに、恐ろしさを感じています。小さい選挙(市町村)も、少しずつ勝っていくことの大切さを思いました。

21 憲法施行71年ー今こそ、くらしに憲法を生かそう

和歌山市 教組 Y. T.



以前和歌山で、椋先生のお話を聴き、もう一度聴きたいとの思いから、今回の母親大会に参加させていただきました。今の安倍政権のさまざまな問題を、問題として感じていない人も多くいるのでは、という思いを日々感じています。そういった人々への気付きをどうしていったらいいかということについて、憲法とはそもそも何か、何のためにあるのか、という椋先生のお話に、改めてたくさんヒントをいただきました。

「右か左かではなく、上(国民)と下(権力)の関係がひっくりかえらないように。」

24 歴史の真実を学ぼうー戦争の被害と加害 日本軍「慰安婦」など

西牟婁 新婦人 T. U.

昨日立ち寄った「草の家」の方が講師で、歴史学者でもなく大学の先生でもない一般の方が、ここまで勉強して運動を拡げていることに、まずびっくり。

戦時中女学校4年生で疎開したという方が発言されて、今の御年が気になり、昼休みにお聞きしたら、85歳とのこと。エエー！ 午後からの方の一人も、「私、今日は90歳の誕生日です。」と。目からうろこ！ 風貌、しゃべり方はどちらも70代でした。「私は、この方々の年までヨウセンナ」が感想です。歴史の真実を知るほどに、ビックリすることばかり。それを運動につなげている皆さんが素晴らしい。

14 不安がいっぱい税の集め方・使われ方ー税制改正のもんだい、くらしと地域経済をどう守る

有田 退教協 Y. Y.

「2025年問題」と問題児(?)扱いされる私たち団塊世代は、生存することが問題であり、長生きすることが若い世代に迷惑かのように言われます。そして、そのことが、消費税の引き上げ、社会保障費の自己負担増大等の最大の根拠のように宣伝され利用されています。でも、それは本当の理由だろうかと考えていましたが、今回の分科会の中で、金持ちにはより厚く、中間層には厳しく、社会的弱者は切り捨てるという税制が起こしている問題であり、私たち一人一人がもっとそのことを知り、正しい税の集め方・使い方を監視していくことが大切だと感じました。



4 お金の心配なく学べる教育をー授業料 保育料 給付型奨学金

和教組女性部 M. I.

貧困の格差がどんどん進んでおり、教育にこれほど影響しているのかと、具体的なお話をたくさん聞かせていただきました。しかし、「心配」の幅が広すぎて、どこに焦点を絞ったら良いかというのも難しい課題だと思いました。



2 わかるって楽しいね。ー午前 算数ひろば 午後 わくわく科学遊び

那賀 教組 K. T.

算数の楽しい授業の導入や教材・教具が見られて良かったです。

でも、子どもの教材優先でしたので、もらえないものがありちょっと残念でした。大人の参加者分がないことが事前に分かっていたら…と思いました。

那賀 教組 T. M.

間違いをびくびくしているより、間違いにどう対応していくか考えられる子どもに育てていくことが大切。間違いを指摘するのではなく、「どうして、そうなの？」と受け入れていくことが大切だと思いました。納得してステップを上がっていけるように支援していきたいと思いました。(参加者の感想文は、次号にも掲載します。)

台風19・20号には、事前にずいぶんやきもきさせられましたが、その台風一過の中を団体バスに乗り、添乗員さんの事前の天候・交通リサーチと運転手さんの慎重な運転のおかげで、無事に高知市へ入れました。少し時間的には遅くなりましたが、24日午後、25日午前のオプションは、予定通り行くことが出来ました。



さまざまなお意見・ご要望より

- * 台風が去った荒波の桂浜(24日午後)から始まり、予想以上に美しく素敵だった「モネの庭」(25日午前)に大感激。テンションが上がった所からの大会(全体会)へ参加しました。
 - * とても充実した3日間を過ごさせていただきました。バスの移動はとても楽でした。
 - * **バスは**、荷物を持たずに移動ができるので助かりました。交流・宴会も楽しかったです。
 - * バスで行けたので、みんなでゆっくり楽しめて良かったです。
 - * 2泊したから、1泊は一人でゆっくり、もう1泊は3人でゆっくりできてよかったです。
 - * 草の家、モネの庭などのオプションは良かったが、日数・費用で迷う人も出るのが…。
 - * 全体会は見ごたえ聞きごたえがあって感動したが、2階席はやや熱くて…。
 - * 分科会について 第2分科会は、親子参加の分科会だとは知らずに行きました。「親子」なら「親子」と分かるようにしておいてほしかったです。学べることはあったのですが、子ども優先のことも多くて戸惑いました。
 - * 1日目の安芸市のビジネスホテルは、阪神の春キャンプの定宿らしいよ。【ホント?】
 - * 少し遅れた方から、うっかりしてみなさんにご迷惑をおかけしました。
 - * 最後に、事務局長まで車酔いで、みなさんにご迷惑とご心配をかけました。感謝します。
- 2日目の高知市内の旅館は、料理に不満だった(大勢)。部屋が不満だった。(2部屋)備品が不備だった(1部屋?)などの声が、帰りのバスの中で出ました。添乗員の入野さんも謝っていましたが、県母連からもお詫びしたいと思います。感想文にもそのような意見が出ていました。ただ、別の意見を持った方もいたので、その声を載せておきます。
- * バスの中では、苦情の声が大きくなり言いにくくなったので、ここへ書きます。学習が目的なのだから、学んで得たものの大きさを大切にしたいかったです。個人の都合や苦情は、そっとアンケートに書くことですませばよかったのにと感じました。
 - * 添乗員の入野さんは、よく気を利かせて親切にしてくれたと思う。(多数)
 - * 大人の話をもっと聞いていた小学6年生から、直筆の感想が届きました。入野さん、ありがとう。帰りのバスのおばちゃんのお言葉にうんざりした。



【沈黙】

いろいろな声をありがとうございました。出た課題は、次に生かしたいと思います。ともあれ、いい思い出と経験・貴重な学習と元気をたくさん得られて、何よりでした。

.....

来年は、静岡(2019. 8. 24~25)です。新幹線で行けますから、各自・グループでということになるでしょう。是非、予定に入れておいていただけると嬉しいです。